

第2回定例会で行った13人の議員の一般質問を紹介します。



おたこういち 議員 (新政クラブ)

### 防災計画と防災対策

## 防災ガイドを全世帯に配布

Q 国の防災計画と防災対策には大きな乖離がある。浸水想定の大きな見直しやダム緊急放水調整など、大風呂敷の計画だが、国の対策予算はOECDの加盟国36カ国中34番目である。市の取り組みを伺う。

A 国の防災基本計画に基づき、地方公共団体は地域防災計画を作成することになっており、本市も昭和40年に地域防災計画を策定し、平成27年に大幅な改定を行っています。計画の中ではハザードマップの作成についても規定しており、本年、ハザードマップの浸水想定をおおむね1000年に1回の大雨によるもの

に見直し、防災ガイドブックとして5月に市内全世帯へ配布しました。

### 新型コロナウイルスの課題対応は

改正など、火事場泥棒的対応の厚顔無恥。深川市の感染症対策の基本的方針を伺う。

A 道内では緊急事態宣言解除後も依然、新型コロナウイルス感染症の患者が出ており、感染拡大予防の対策を引き続き行う必要がある状況が継続しています。市としては、市民から感染者を出さない、クラスターを発生させないことを第一に、新しい生活様式、北海道スタイルの実践の徹底を図りつつ、社会活動や経済活動ができるだけ早期に元の状態に戻るようさまざまな対策をとっていくことを基本的な対応としています。

洪水避難地図(洪水ハザードマップ): 市HP



防災ガイドブック



ささきかずお 議員 (新政クラブ)

## 道の駅テナント差別的扱い 地方自治法等に沿って対応

Q (株)深川振興公社は、かつてA工場の券売機を根拠も示さず撤去させた一方、現状のB社のカフェとテイクアウトコーナーでのコーヒー・おにぎり販売は応募要項違反が疑われる。差別的な取り扱いではないか。

A 当該テナントの券売機については、事業者が自主的に引き下げたと深川振興公社から聞いています。また、道の駅「ライズランドふかがわ」のテナントに関するものについて、市では応募要項や地方自治法に沿った対応をしていることを申し上げた上で、質問の内容が、現在係争中の住民訴訟事件にかかわるため、

訴訟代理人とも相談し、個別員体にお答えすることは控えさせていただきます。

### 道の駅カフェコーナー開設決裁書

Q 道の駅カフェコーナーの開設理由等を情報公開請求したが、恐らく企業情報を理由に非公開とされています。

A 本件に係る情報公開請求については、深川市情報公開条例第5条に基づき、非公開としています。同第5条にある事業活動情報の具体例として

道の駅「ライズランドふかがわ」: 市観光サイト



道の駅「ライズランドふかがわ」



つじもと さとし 議員 (公政クラブ)

## 現場の労働環境の実態は 各事業所の努力により改善

Q 深川市労働基本調査によると、建設・製造業を中心に働き方改革の取り組みが前進している。労働時間及び休暇取得状況など、雇用の継続に努力されている現場の取り組みについて伺う。

A 令和元年度の労働基本調査では、建設業やサービス業において、労働力が不足しているとすると割合が前回調査より増加している一方で、時間外労働の時間数が減っているという結果が出ています。この背景として、特に建設業においては、人材の確保や定着に苦勞しているといった声もある中、働く人の安全・健康といった就労環境や処遇の改善

についても努力されていることが、まさに数字としてあらわれているものと考えています。

### 通所介護事業の継続に行政の支援を

Q コロナ禍の中、高齢者の介護事業所ではサービス利用者の安全確保と必要な対応に多くの努力

が重ねられている。地域における介護事業の継続のために、行政としての支援を検討すべきと考えられるかがか。

深川市労働基本調査: 市HP



労働基本調査報告書



おおまえ あきよ 議員  
大前昭代 議員  
(民主クラブ)

## これからの高齢者支援

### 関係機関と連携し支援する

Q 孤立しがちな高齢者が、喜びや不安を分かち合う事ができる心の豊かさを持ちながら、命や生活を守ると同時に尊厳も守る支援が必要であると考えます。現在行っている対策と今後の考えについて伺う。

A 市では、定期的に電話や自宅訪問で安否を確認する、ひとり暮らし老人等安否確認サービスを行っているほか、市内37の民間事業者と地域見守りネットワーク協定を締結し、高齢者の日常生活の見守りに協力いただいています。また、関係機関などと連携して訪問や声かけなど日ごろから見守り活動に協力いただき、

地域から孤立することなく安心して暮らすことができる体制づくりに引き続き取り組んでいきます。

### 障がい理解するための取り組み

Q 障がいのあるなしに関係なく、共に支え合い暮らしていくために、手助けを必要としている方に、優しく手を差し伸べる事が自然にできる接し方の勉強会や講習、障がいを考える、知るための取り組みを伺う。

A 北空知自立支援協議会子ども部会において、研修会や講演会を開催しており、昨年度は、発達障害のある子どもたちの思春期への対応をテーマにした講演会を実施しました。また、本年9月に本市で開催を予定していた第69回全道身体障害者福祉大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりましたが、今後は別な機会を通して、障がいについて考える取り組みなどを検討したいと考えています。

地域における高齢者の見守りについて：市HP



地域見守りネットワーク協定締結式



たばた はるみ 議員  
田畑陽美 議員  
(民主クラブ)

## 地域共生社会の地域づくり

### 地域における諸課題を議論

Q 今日の高齢者の安心だけではなく中長期的な暮らしの見通し、住民がいつまでも安心して暮らしていける持続可能な地域共生社会の地域づくりを目指すため、地域住民との多様なつながりが必要だと思いが市の考えは。

A 住み良いまちをつくるためには、市民と行政が共に知恵を出し合い、力を合わせていくことが重要であると考えています。地域の課題に対し、各地区の町内会やコミュニティセンターの運営主体である各コミュニティ振興会などの各種団体と連携していくほか、深川市協働のまちづくり推進市民協議会の中でアイテ

Aを募るなど、今後においても地域における諸課題について議論していきたいと考えています。

### 市立病院の待ち時間不満足軽減対策

Q 医療機関において患者が抱く不満の中で、常に上位を占めているのが長い待ち時間である。待ち時間を短縮する。今後には、市立病院で、待ち時間対応策として、事前採血検査の実施や外来待合ホールにニューズなどの情報を提供する電子情報掲示用モニターを3台設置しているほか、本年4月からは外来待合エリアにスマートフォンなどを快適に使用できるフリーWi-Fiの環境を整備しました。今後も、道央10市の市立病院事務担当者会議で情報収集を行うなど、待ち時間への有効な対応策の検討及び実施に努めます。

みんなで進めよう市民協働のまちづくり：市HP



協働のまちづくり推進市民協議会の様子



やまもとときお 議員  
山本時雄 議員  
(令和公明クラブ)

## 市立病院の経営状況を伺う

### コロナ禍で減収の見込み

Q 市立病院の経営に関して、一般会計繰出金の状況と今後の見込みをどのように考えているのか。平成26年度から令和元年度まで、多額の繰り出しを行っているが、将来的に改善されるのか、これまでの経過と見込みについて伺う。

A 一般会計からの市立病院への繰出金について、平成30年度以前の過去5年間の平均で、毎年約11億円の繰出金を措置していましたが、令和元年度は、8億1400万円程度が見込まれ、過去の平均との比較では3億円弱の減少が図られたところです。今後の見込みですが、新型コロナウイルス

感染症の影響による減収が見込まれますし、それに対する国の新たな政策も踏まえ、引き続き適切な額を措置する考えです。

### コロナ禍での花卉農家への支援策は

Q 花卉農家は4月から出荷が始まっているが、昨年より大幅な価格減少が続いている。今後はコロナ禍の影響で、イベントもなく大変な事態が予想されるが、市として独自の支援策があるか伺う。

A 生産者ごとの収入全体を見て総合的に補填する国の収入保険制度がありますが、加入していない生産者もあり、今後価格の下落が続けば、大きな影響を受けることが懸念されます。このため、JAきたそらちと連携し、国の高収益作物次期作支援交付金の確保や経営継続補助金などの有効活用を努めるとともに、今後の市場動向などを見きわめながら、さらに必要な対応について検討したいと考えています。

農業経営の収入保険：農林水産省HP



最盛期を迎えたスターチス



たなかまさゆき 議員  
田中昌幸 議員  
(民主クラブ)

## 市立病院経営への影響は

### 感染予防対策で大きく減収

Q 国指定の第2種感染症指定医療機関として2月以降、新型コロナウイルス感染症に対応するため、感染症病床を増床して確保したことや、診療抑制などによる市立病院の経営への影響について伺う。

A 市立病院は4床の感染症病床の指定を受けており、当初はこの病床と2部屋8床の一般病床を活用し、感染症患者の入院診療体制を確保していましたが、北海道よりさらなる受入病床確保の要請を受け、4月上旬からは感染症病床4床に加え8部屋29床を空床化し、受入体制を確保しています。また、感染予防のため

の不急の手術や入院の制限、外来診療の簡素化により、2月・3月は6200万円程の減収を見込んでいます。

民への情報発信ツールとして、緊急警報対応ラジオの導入とFMローカル放送局の開設に向けた検討会の設置について伺う。

確保などのさまざまな課題があるため、検討会の設置も含め引き続き研究を行っていきたいと考えています。また、北海道胆振東部地震の際に被災地自治体が臨時災害放送局を運用した事例もありますので、このことについても研究したいと考えています。

深川市立病院HP



深川市立病院



ちかさわひろゆき 議員  
近沢弘幸 議員  
(公政クラブ)

## デマンド交通運行の考えは

### 地域の実情を勘案して検討

Q 路線バスの減便は、人口減少を初めバスの乗務員不足も原因となっているが、住民の足を確保することは重要である。デマンド交通の運行について考えを伺う。

A 公共交通空白地域での移動手段確保については、深川市地域公共交通網形成計画と、第2期深

川市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、デマンド型乗合タクシーの導入検討を進めるとしています。近年の乗務員不足による路線バス減便などの影響を受けた地域では、早期導入に向けた要望も高まってきていますので、そうした地域から要望があった場合は、

地域の実情を勘案した交通体系が構築できるような検討を進める考えです。

みとして、4月28日以降に生まれた新生児への給付について考えを伺う。

考えて事業を進めているため、対象範囲の拡大は難しいものと考えています。今後においては、現在、国で審議中の第2次補正予算で予定されている新たな事業を含め、国の動向を注視し、多角的な視点に立ちながら可能な対応に努めていく考えです。

深川市地域公共交通網形成計画：市HP



路線バス



きたなてるみ 議員  
北名照美 議員  
(日本共産党)

## 障害者加算カットは違法 適切に対応するよう注意

Q 私が代理人となって北海道に不服申し立てを行った、生活保護利用者の障害者加算カット事案は「深川市は違法」の裁定となった。この事案についての反省点、本人への謝罪、担当職員の処分状況について伺う。

A 本事案は、精神保健福祉手帳の有効性のみで加算の有無を判断したことによる誤りでした。市としては、北海道の裁定後、直ちに加算を認定するとともに、所管部長が当該世帯を訪問し、事務処理の誤りについて謝罪を行いました。所管課長に対しては、適切な対応に努めるよう3点にわたりに口頭にて注意し、処分

等については、事務処理上の誤りであるため、懲戒には該当しないと判断しています。

中真紀子氏の投稿もあったが、優しい心を身につけるため採用時に福祉施設で研修する考えについて伺う。

持つことができ、業務遂行に生かされると考えます。しかし、受け入れ先となる介護事業所において、研修対応できる職員が少なく、受け入れは困難と聞いているため、実現は難しいと考えますが、提言の趣旨を踏まえて職員の養成に努めていく考えです。

生活保護制度：市HP



介護施設介添えボランティア研修



まつもとまさひろ 議員  
松本雅祐 議員  
(令和公明クラブ)

## 緊急小口資金制度について わかりやすい周知に努める

Q 新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等で減収となり、経済的に困っている方の生活を維持するため、1回20万円を上限に貸し付ける制度があるが、制度内容と周知について伺う。

A 北海道社会福祉協議会が実施している緊急小口資金は、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に、最大20万円を上限に無利子、保証人不要で貸し付けるもので、今回、貸付対象者の拡充に加え、措置期間延長などの特例措置を実施しています。周知については、市ホームページで制度説明などを掲載しているほか、国のホームページ

をリンクさせるなど、今後よりわかりやすい周知に努めます。

### 自分の健康を守り 作るフレイル予防

Q 加齢に伴い筋力など心身が衰えて介護が必要となる一歩手前の健康状態であるフレイルは、早期に適切な治療や予防に

取り組めば防止できる。健康寿命を延伸する本市のフレイル予防の取り組みを伺う。

生活機能をチェックしてみよう：市HP



介護予防事業の様子



みやざわたかし 議員  
宮澤孝司 議員  
(令和公明クラブ)

## 中央公民館の建てかえは 立地適正化計画により検討

Q 市役所庁舎と高等看護学院の建てかえが決まったことで、中央公民館の建てかえが後回しにされたという市民の思いがある。現在の状況における中央公民館建てかえの考えを伺う。

A 市の施設整備については、施設の性格や必要性及び運用コストを検討するとともに、市の財政状況などを見きわめながら、有利な財源を確保して整備を進めていくこととしており、中央公民館についても、同様に検討を進めています。現在、策定中の立地適正化計画において、中央公民館の整備についても検討する予定であり、当面は他の

施設の整備状況などを把握するとともに、関係所管と連携し、協議を行っていく考えです。

### 商店街ポイントカードとの連携事業

Q 健康診断などの受診率向上に対する取り組みとして、受診時に発行する健康福祉ポイントと商店街の買い物ポイントとを合算し、特典サービスを受けられる連携事業について、取り組みの考えを伺う。

A 受診率向上のための取り組みとして、現在のところ、特定健診の特典サービス事業を重点的に取り組んでいます。特定健診の受診率が伸び悩んでいることから、受診率向上への取り組みは重要であり、ポイント制を生かした取り組みは、とても参考になるものと思われることから、今後、これら先進地の取り組みを研究するなど、受診勧奨への効果的な対策について検討していきたいと考えています。

公民館：市HP



中央公民館



おだまさいち 議員  
小田雅一 議員  
(公政クラブ)

## コロナの地域農業への影響 価格下落・在庫増加を懸念

Q 国の緊急事態宣言による自粛によって、日本経済は厳しい状況となっている。深川市の基幹産業である農業に与える影響も大きいものがあると想定されるが、市内農畜産物の現状と影響について伺う。

A 米、ソバは、外食店などの休業により外食需要が減少し、価格下落や繰越在庫の増加が懸念されています。肉牛も、前年比で枝肉価格は20%、30%、素牛価格は15%、20%減少している状況です。国の施策としては、収入減少影響緩和交付金や収入保険制度、肉用牛肥育経営安定交付金制度、肉用子牛生産者補給金制

度などがありますが、価格下落に対応した制度に未加入の生産者もあり、影響を懸念しています。

### 臨時休業による学力低下はないか

Q 学校の臨時休業による学力低下が懸念される。深川市で実施している学習サポートプログラム事業のさらなる充実が必要と考える。学力低下、格差について、市としての考えと対策について伺う。

A 本市においては、児童生徒や教職員の負担を考慮し、長期休業期間の短縮などによる授業時数確保が必要と考えています。また、学習サポートプログラム事業のうち、長期休業期間に行うチャレンジ深川の実施の可否を検討しているほか、小学校放課後教室については、実施回数をふやし、学習内容を充実させて実施するなど、誰一人取り残すことなく、学びを保障する姿勢のもと、学校・家庭・地域と連携して対応していく考えです。

経営所得安定対策：北海道農政事務所HP



価格下落が心配されるふかがわ米

## 掲載以外の 主な質問項目

全ての質問内容は、深川市議会YouTubeチャンネルや市ホームページの一般質問通告表で確認できます。

深川市議会  
YouTube  
チャンネル



一般質問通告表:市HP



- **太田 幸一** 議員
  - ・『道の駅』ライスランドふかがわ、『法律解釈』に矛盾はないか
  - ・『深川市立図書館』の書籍の充実は
- **佐々木一夫** 議員
  - ・前々回定例会で見送られた行政側の私への質問等について
  - ・まあぶの営業時間について
  - ・特別定額給付金とマイナンバーについて
- **辻本 智** 議員
  - ・深川市地域防災計画について
  - ・第2期「深川市子ども・子育て支援事業計画」について
  - ・「ふるさとふかがわの未来への提言」パネル展について
- **大前 昭代** 議員
  - ・市営住宅の現況について
- **田畑 陽美** 議員
  - ・インクルーシブ防災について
- **山本 時雄** 議員
  - ・後期高齢者医療制度について
- **田中 昌幸** 議員
  - ・非常勤特別職の報酬について
  - ・2020年度予算の組み替えについて
- **近沢 弘幸** 議員
  - ・新北海道スタイルと今後の対応について
  - ・エフパシオの利用状況と、今後の合宿誘致活動について
- **北名 照美** 議員
  - ・北海道の先住民族・アイヌの人々について
  - ・北海道開拓の礎となった囚人労働者へのリスペクトについて
  - ・日本国憲法の珠玉の第9条について
- **松本 雅祐** 議員
  - ・避難所の運営とマスク等の備蓄品を含めた防災対策について
  - ・新型コロナウイルス感染症対策の支援について
  - ・災害時に赤ちゃんを守るための乳児用液体ミルクの備蓄について
- **宮澤 孝司** 議員
  - ・新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・中心市街地の市道整備について
- **小田 雅一** 議員
  - ・特定健診、がん検診について
  - ・ふかがわパーク、ふかがわシールドについて



きたむら かおる  
**北村 薫** 議員  
(公政クラブ)

## 台湾若年層へ深川市をPR つながりを大切に準備

Q 台湾の意欲ある若者を受け入れてモニターツアーを実施し、深川市のPRを図るインバウンドモニター受入PR事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況だが、実施の見通しについて伺う。

A 台湾と日本の行き来は、新型コロナウイルス感染症の影響で入国制限等の措置が行われており、国際的な観光の推進は非常に困難な状況となっております。今後の見通しは極めて難しいことから、今は、お互いの国の状況などについて情報交換を行っています。今後、国際的な活動が可能になった際に、円滑にインバ

ウンド観光事業が展開できるように、今まで本市が関係した台湾の方々のつながりを大切にしながら、しっかりと準備していく考えです。

Q 一已中学校のエレベーターの利用障がい者用エレベーターが利用できない状況になっている。バリアフリーの観点から稼働させることが望ましいと思うが、市の考えを伺う。

A 一已中学校のエレベーターは、平成13年の校舎改築に伴い、バリアフリーに配慮し設置しましたが、学校生活を送る上でエレベーターを必要とする生徒が在籍しなくなった平成18年度以降、保守点検経費削減などのため使用を休止しています。今後は、本設備が設置された経緯も踏まえ、障がいのある生徒などが在籍することが見込まれた際に、利用再開に向け検討する考えです。



深川観光協会HP



台湾の教育旅行を受け入れ